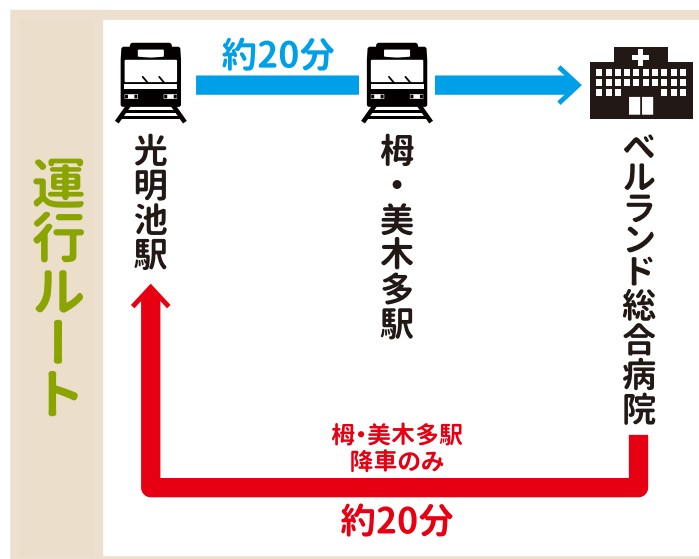


2025年9月1日より 梅・美木多駅/光明池駅 行の 送迎バスを運行開始します

時	ベルランド 発	梅・美木多 駅	光明池 駅発	梅・美木多 駅発
7	20	降 車 の み	40	50
8	20		40	50
9	20		40	50
10	20		40	50
11	20		40	50
12	20		40	50
13	20		40	50
14	20		40	50
15	20		40	50
16	20		40	50

- * ベルランド総合病院3番乗り場より発着。
- * 日祝日および年末年始は運行いたしていません。
- * 到着時刻は予定通過時刻ですので余裕をもってお待ちください。



Bell Forum

地域と職員とともに学べるチーム

P10 予約センター開設

P11 送迎バス
 梅・美木多駅/光明池駅行 運行開始

特集

医療最前線
 -包括的がん診療センター-

連載

登録医のご紹介

Topics

- ・国際骨粗鬆症財団 銀賞認定 (二次性骨折予防への取り組み)
- ・看護部新体制
- ・夜間看護研修
- ・セミナー・イベントのご報告
- ・セミナー・イベント開催情報

89
 2025 autumn
**TAKE
 FREE**

2025年4月開設

包括的がん診療センター



がんは、日本人の死因の第一位を占め、二人に一人が生涯でがんにかかり、かつては、三人に一人は亡くなるとされていましたが、近年の医学・医療の進歩によって、多くの部位のがんの生存率は着実に向上しています。

「大阪府がん診療拠点病院」に指定されている当院は、がんに対する様々な専門的治療を行っています。その中で、がん治療の三本柱のひとつである薬物療法の進化は目覚ましく、従来の抗がん剤による化学療法やホルモン剤による内分泌療法に加えて、分子標的療法や免疫チェックポイント阻害剤による免疫療法が登場したことで、個々の患者さんの病状に応じた個別化治療を行うことが可能となりました。

包括的がん診療センター センター長

ふくおか かずや
福岡 和也

【専門領域】 腫瘍内科
がん薬物療法
呼吸器悪性腫瘍

【資格等】
日本内科学会：認定内科医
日本呼吸器学会：指導医・専門医
日本呼吸器内視鏡学会：
気管支鏡指導医・専門医・評議員
日本臨床腫瘍学会：協議員
日本臨床薬理学会：特別指導医・評議員
日本医師会：産業医
The Best Doctors in Japan 2024-2025
医学博士

【略歴】

1980年 大阪星光学院高等学校 卒業
1986年 奈良県立医科大学 卒業
1990年 大阪府済生会吹田病院 内科医員・副院長
1995年 国立がんセンター研究所 薬効試験部
リサーチレジデント
1998年 奈良県立医科大学 内科学第二講座
助教・学内講師・講師
2005年 兵庫医科大学 内科学呼吸器・RCU科
胸部腫瘍学講座 がんセンター 准教授
2014年 近畿大学医学部 堺病院腫瘍内科 准教授
2015年 近畿大学病院 臨床研究センター 准教授
2016年 同 臨床教授
2018年 同 センター長
2018年 近畿大学
ライフサイエンス研究所・副所長(兼任)
2019年 近畿大学病院 ゲノム医療センター(兼任)

当センターは、がん患者さんに寄り添い、安全で質の高い薬物療法を行うことを目的として、本年4月に組織されました。外来化学療法室には、腫瘍内科医、がん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師、がん専門薬剤師などの専門職が常駐し多職種連携によるチーム医療を実践しています。治療前と初回治療翌日には、看護師が直接、病状や副作用、心配事などをうかがい、その内容を医師や他職種と共有して患者さんが安心して治療を受けることができるように努めています。副作用による外見の変化に対応するために、アピアランスケアにも積極的に取り組んでいきます。薬剤師は、個々の患者さんの治療内容とスケジュールを管理し副作用をチェックすることで、安全かつ円滑に薬物療法が実施できるようサポートしています。

がん専門薬剤師による副作用説明の様子



火曜日と金曜日には、紹介患者さんを中心として外来診療を行っています。各診療科からのコンサルテーションには常時対応しております。また、治験への参加を希望される患者さんや一部の希少がん患者さんは、病状に応じて近畿大学病院・腫瘍内科とも連携しながら治療しています。当センターでは、「誰一人取り残さないがん診療」を目標に掲げて、多職種連携チームが一丸となり、がん患者に寄り添う最良の医療を提供していきたいと考えています。



多職種連携による「患者中心のがん医療」の実現

「患者中心のがん医療」を実現するために、医師、看護師、薬剤師だけでなく、管理栄養士や医療ソーシャルワーカー(MSW)など多職種が協働して密接に連携できる体制整備に努めています。

包括的がん診療センター
センター長

福岡 和也

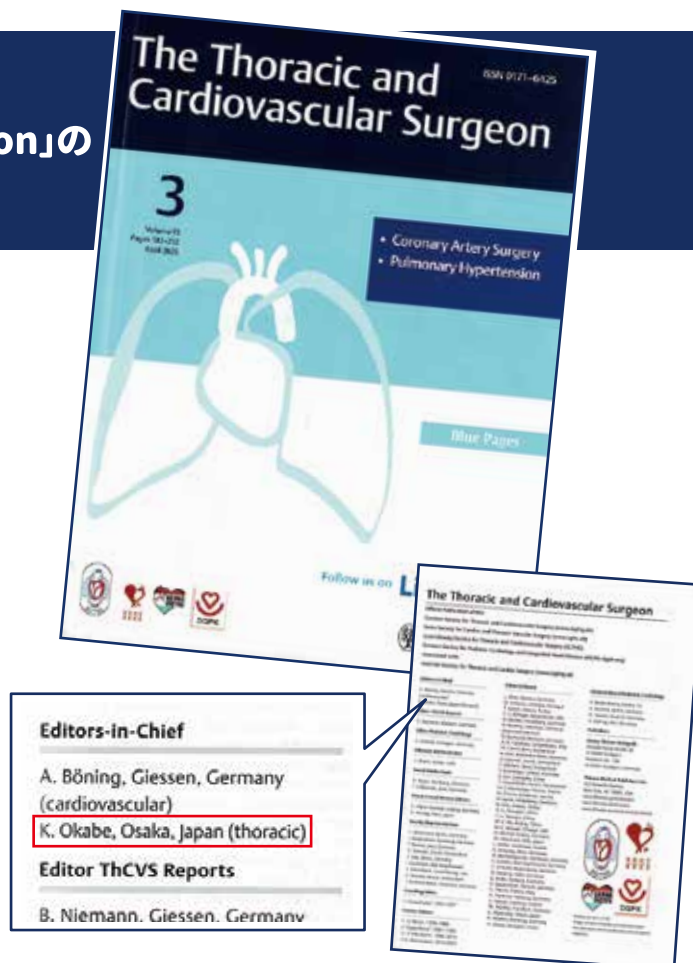
ドイツ拠点の英文誌 「The Thoracic and Cardiovascular Surgeon」の Editor-in-Chief (thoracic)に任命されました

2025年から、ドイツが拠点の胸部心臓血管外科に関する英文誌「The Thoracic and Cardiovascular Surgeon」のEditor-in-Chief (thoracic)を務めることになりました。

本誌は、ドイツ、スイス、ルクセンブルク、オーストリアの学会の公式出版物です。Editor-in-Chief (thoracic)を訳すと、「胸部外科分野の編集長」になります。立候補したのではなく、前編集長のドイツ人心臓外科医から強く推薦していただきました。

呼吸器外科医の業務に加えて、投稿された論文の査読者を決め、査読結果に基づき論文の採否を判定する編集長の役割も担ってまいります。

呼吸器外科 部長 岡部 和倫



アスベスト患者と家族の会 講演会 終わりにアスベスト災害 「クボタショック」20年を迎えて

2025年6月14日(土)
13:00~16:00

ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

プログラム

12時: オープニング

映像で振り返る「いのちの軌跡」
野崎 朋未さん(映像ディレクター)

13時: 講演

「終わりにアスベスト災害」
宮本 憲一 先生

「アスベストと胸膜中皮腫」
ベルランド総合病院
呼吸器外科部長 岡部 和倫

「深刻な尼崎のアスベスト被害」
尼崎労働者安全衛生センター
事務局長 飯田 浩 さん



2025年6月14日(土)に宮本憲一先生をお招きして、アスベスト患者と家族の会連絡会主催の講演会『終わりにアスベスト災害 「クボタショック」20年を迎えて』が、ベルランド総合病院で開催されました。患者さんやご遺族、一般市民や研究者、堺市役所の職員、政治家やマスコミの方、病院職員等の参加で、約300席のホールは満員の盛況でした。

95歳の宮本先生は経済学者で、専門は財政学・環境経済学です。2016年に、「戦後日本公害史論」で日本学士院賞を受賞されています。大阪市立大学名誉教授であり、元滋賀大学長です。アスベストの性質と使用量、被害と公害、対策と予防、行政等について、熱心に90分間講演されました。

呼吸器外科 部長 岡部 和倫

5/17 Sat. ハーバード大学医学部 胸部外科教授 ラファエル・ブエノ先生特別講演会 16:00~17:30

会場 ベルランド総合病院 地下1階AIFホール

座長

大阪公立大学大学院医学研究科 呼吸器外科学 教授
宗 淳一 先生

特別講演

「Introduction to the Division of Thoracic Surgery, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School」

(ハーバード大学医学大学院 ブリガム・アンド・ウイメンズ病院 胸部外科の紹介)

Brigham and Women's Hospital, Division of Thoracic Surgery Chief of Thoracic and Cardiac Surgery Harvard Medical School, Professor of Surgery

Raphael Bueno, M.D.

(ブリガム・アンド・ウイメンズ病院 ハーバード大学医学部
胸部心臓外科主任教授 ラファエル・ブエノ 先生)

講演

「胸膜中皮腫に対する手術と治療成績」 (Operations for Pleural Mesothelioma and Treatment Results)

ベルランド総合病院 呼吸器外科部長
元ハーバード大学 ブリガム・アンド・ウイメンズ病院
胸部外科 クリニカルフェロー
岡部 和倫(Kazunori Okabe, M.D.)



▲左から岡部部長、ラファエル先生、宗先生

2025年5月17日、AIFホールにて、ハーバード大学医学部 胸部外科教授のラファエル・ブエノ先生をお招きし、特別講演会を開催いたしました。当日は、地域の医療機関から150名の方々にご参加いただき、盛会のうちに終了いたしました。今回の講演会は、呼吸器外科 岡部部長のご縁により、海外から講師をお招きする貴重な機会となり、全ての講演・質疑応答が英語で行われました。

ブエノ先生からは、ブリガム・アンド・ウイメンズ病院における胸部外科の診療体制や治療実績など、米国の最先端の取り組みをご紹介いただき、日本の医療現場とは一線を画すスケールの大きな内容に、参加者一同、大きな刺激を受けました。

質疑応答も英語で交わされましたが、通常のセミナー以上に活発な議論が展開され、会場は大いに盛り上がりました。また、今回は当院で初めて、AI通訳を導入いたしました。演者の発言を通訳ソフトがリアルタイムで音声認識し、翻訳された字幕をスクリーンに投影することで、参加者の理解をサポートしました。

今後も当院では、地域の皆さまにとって有益で、国際的な視点を持つセミナーの開催を目指してまいります。

法人本部事務局経営企画部 部長 池上正樹



登録医のご紹介

オンライン
診療対応

WEB予約
対応



いとしん整形外科

☎072-349-6283



いとう しんご
伊藤 真吾 先生

星 座:うお座
血液型:O型
趣 味:スポーツ観戦

2024年5月1日にグランドオープンした
メディカルスクエア初芝駅前の
クリニックを順次ご紹介します!



- Q1. 標榜科は何ですか?
整形外科・リハビリテーション科・救急科
- Q2. 医師を目指した動機(きっかけ)は?
小学生の時に読んだ漫画「スーパードクターK」に憧れて
- Q3. 診察する際に心掛けている事は何ですか?
・患者さんの立ち居振る舞い、言葉に全ての答えがあるという意識で患者さんと向き合うこと
・医学用語は用いず、平易な言葉で説明すること
・親身になり、共感を示し、礼儀を欠かさないこと
- Q4. 地域医療について
当院は整形外科という特性上、加齢とともに運動器に支障をきたした患者さんが数多く来院されます。いかに自分らしく、ADLに支障をきたさず人生を全うするお手伝いができるかを念頭に地域に貢献したいと思っています。
- Q5. 当院への希望・要望
地域の開業医からの紹介症例を中心としたカンファレンスを頻回に開催していただきたいです。
- Q6. 最後に一言お願いします
いつもお世話になっております。面倒に思われることも多いと存じますが、末永くよろしくお願いいたします。

診療時間 : [午前診]09:00~12:00
[午後診]16:00~19:00
[リハ・リ]13:00~16:00

休 診 日 : 木曜日・日曜日・祝日・土曜日午後・年末年始・夏季休暇

住 所 : 〒599-8114
大阪府堺市東区日置荘西町4丁35-10
メディカルスクエア初芝駅前206

最 寄 駅 : 南海高野線「初芝駅」

U R L : <https://itoshin.clinic/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	△	●	●	△
13:00~16:00 リハビ・オンラインのみ	▲	▲	▲	△	▲	△	△
16:00~19:00	●	●	●	△	●	△	△

▲・・・リハビリ・オンライン診療のみ
・受付開始は診療開始15分前から
・初診受付は診療終了30分前まで

新規登録医

登録医件数 **495** 件 (2025年7月現在)

中 区	みさきクリニック	みさき 御前 先生
中 区	かし歯科	かし 家始 先生
北 区	つのベビーキッズクリニック	つの 津野 先生

大 阪 市	回生会クリニック	ふじた 藤田 先生
和 泉 市	はいさいクリニック	やましろ 山城 先生
和 泉 市	まつむら腎泌尿器科	まつむら 松村 先生
河内長野市	石倉医院	いしくら 石倉 先生

イベント・セミナー開催情報

医療従事者向け

第28回ベルランド地域医療懇話会

2025 土
09 / 20
15時~

ホテル アゴーラリージェンシー大阪堺 3階 春慶
〒590-0985 大阪府堺市堺区戎島町4-45-1
TEL:072-224-1121

15:00~ 第一部 当院診療科のご案内

- 講演1 ベルランド総合病院における呼吸器内科の役割について
呼吸器内科 部長 井尻 尚樹
- 講演2 地域に根ざした救急医療プロジェクト
副院長・急病救急部 部長 濱口 満英
- 講演3 糖尿病治療の変遷
内分泌・代謝科 部長 藤木 典隆
- 講演4 多職種連携で取り組む「がん薬物療法」の副作用マネジメント
包括的がん診療センター センター長 福岡 和也

16:30~ 第二部 情報交換会

※大阪府医師会生涯研修システムへ申請中です。

市民の方向け

ベルランド総合病院 市民公開講座

2025 土
10 / 04
10時~16時

SAYAKAホール(大阪狭山市文化会館)
〒589-0005 大阪府大阪狭山市狭山1丁目875-1
TEL:072-365-8700 FAX:072-365-6700
南海高野線 大阪狭山市駅より徒歩3分



北野田駅・金剛駅より
無料送迎バスを
運行予定です。

第一部
10:00~12:30

- 10:00~11:30 体験コーナー
・緑日コーナー ・災害救命コーナー
・白衣体験ブース(白衣写真撮影)
・あかちゃんだっこ体験 ・子育て相談
- 11:30~12:30 講演会
「子どもを取り巻く現代の課題
～感染症及び発達障がいを考える～」
副院長・小児科 部長 沖永 剛志
「無痛分娩始めました」
産婦人科 部長 松木 貴子
「ベルランドの産婦人科ってどんなところ?」
看護部 科長補佐 高瀬 昌子

第二部
13:00~16:00

- 13:00~15:00 体験コーナー※
・血圧測定 ・骨密度測定
・災害救命コーナー ・健康相談
- 15:00~16:00 講演会
「心臓手術が必要って言われました! さあ、どうしましょう?」
生長会 心臓血管外科センター
統括センター長 柴田 利彦
「脂肪肝ってなに?ほうっておくとどうなるの?」
院長補佐・消化器内科 部長 安 辰一
「肥満でない人も要注意! 『ほっておけない脂肪肝』」
栄養管理室 リーダー 須崎 裕香

※12:30よりの整理券を配布します。

医療従事者向け

09 / 27 土
14時~16時30分

がん看護の新時代! 地域と急性期病院でつなげる化学療法&緩和ケアの実践

会場: ベルランド総合病院 地下1階 AIFホール

医療従事者向け

10 / 05 日
9時~17時30分

第17回 緩和ケア研修会

会場: ベルランド総合病院 地下1階 AIFホール

医療従事者向け

10 / 18 土
17時~18時15分

泉北消化器ネットワーク研究会 ~IBD診療を中心に~

会場: スイスホテル南海大阪 朱鷺(8F)
〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5丁目1番60号
TEL:06-6646-1111

～骨折リエゾンサービス(FLS)による 二次性骨折予防への取り組み～

国際骨粗鬆症財団(International Osteoporosis Foundation:IOF)では、高齢者の脆弱性骨折に対する二次性骨折予防(骨粗鬆症治療)に積極的に取り組む医療機関を対象に、活動の質を評価・認定する制度を設けています。

このたび、当院の取り組みが評価され、「銀賞(シルバースタンド)」の認証を取得いたしました。大阪府内では8施設が認証を受けており、堺市内では当院が唯一の認証施設となります。



この活動は「骨折リエゾンサービス(Fracture Liaison Service:FLS)」と呼ばれ、当院では特に大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折に対する二次性骨折予防に重点を置いて実施しています。

FLSは多職種連携を基盤とした取り組みであり、当院では医師に加え、骨粗鬆症マネージャー(7名)、FLSコーディネーター(5名)の資格を有する看護師・理学療法士が中心となって、入院中はもちろんのこと、退院後の外来フォローアップにおいても継続して支援を行っています。また、リハビリテーション病院や介護施設、地域のかかりつけ医の先生方と密接に連携し、情報提供・情報共有を積極的に行うことで、切れ目のない二次性骨折予防の実現に努めております。

当院では、目の前の骨折治療にとどまらず、将来の骨折予防にも力を注ぎ、患者さんの生活の質(QOL)向上と健康寿命の延伸を目指した医療を提供してまいります。

FLS推進室 主任 田中 暢一



2025年
6月5日 木
18:00-20:00
ベルランド総合病院
地下1階AIFホール

日韓のめまい研究の トップランナーによる講演会

座長・司会 ベルランド総合病院 耳手術・めまい難聴センター センター長 今井 貴夫

開会挨拶
18:00～18:10

ベルランド総合病院 耳手術・めまい難聴センター センター長
今井 貴夫

特別講演 I
18:10～19:00

「1人3分で何とかなるめまい診療」
奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授
北原 紘 先生

特別講演 II
19:00～20:00

「中枢性めまい」
ソウル大学 神経科 教授
Ji Soo Kim 先生

2025年6月4日当院AIFホールにて「日韓のめまい研究のトップランナーによる講演会」を開催いたしました。当院の耳手術・めまい難聴センターはソウル大学神経科と親交があり、その証として当講演会が開催されました。講演会のタイトル通り、日韓のめまい研究のトップランナーのソウル大学神経科のJi-Soo Kim教授と、奈良県立医科大学耳鼻咽喉頭頸部外科の北原紘教授に講演していただきました。

特別講演I「1人3分で何とかなるめまい診療」では北原教授に、めまいを主訴とする患者に対し、最小限の問診でメニエール病などの9つのめまい疾患の中から一番可能性の高い疾患を抽出する方法についてご講演いただきました。

特別講演II「中枢性めまい」はKim教授のご講演でした。Kim教授は中枢性血管性めまいの国際診断基準を作成されました。この診断基準で新たに提唱された中枢性血管性めまいの最新の三つの亜型の診断法についてご講演いただきました。

この親交を今後も継続することにより、日韓のめまい診療に関する最新の情報を交換し、当院での診療に役立ていくようにいたします。

耳手術・めまい難聴センター センター長 今井 貴夫



セミナーの様子



北原教授(左)とキム先生(右)

看護部新体制について

当院では、看護部の理念である「ぬくもりのある、ゆきとどいた看護の提供」の実現に向けて、「セル看護提供方式[®]」を採用しています。患者さんのそばで変化に気づき、タイムリーな看護ができる体制を整え、看護職がやりがいを持ち、成長できる職場環境づくりを進めています。

現在、専門看護師3名、認定看護師17名、特定行為研修修了者16名、さらに診療看護師1名が加わりました。今後も地域の皆さまと連携し、変化する医療ニーズに応えながら、人々の健康と生活を支える看護を実践してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

※セル看護提供方式[®]は飯塚病院の商標登録です。

看護部 部長 野口 富美子

看護部長
認定看護管理者
野口 富美子

臨床
研修医の

夜間看護実習を終えて

ベルランド総合病院研修医一年目の澤瀬幹太と申します。先日、夜間看護研修に参加させて頂きました。今回の看護体験では、おむつ交換や見回りなど、看護師さんたちの仕事が本当に大変だと感じました。患者さん一人ひとりに合わせて細かいところまで気を配り、夜間も休む間もなく動かれている姿を見て頭が下がる思いでした。また、自分の指示が病棟でどう運用されているかを知ることができ、今後の指示に活かしていきたいと思いました。最後に、今回の研修に関わってくださった看護師さんと関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

臨床研修医 澤瀬 幹太



予約センター開設準備中です。

現在、外来の予約変更は、電話での対応(14時~16時)となっており、電話が集中して代表電話が繋がらないなど、大変ご迷惑をおかけしているところです。その対策の一環として、正面玄関入って左手(現在の8番再診受付機、保険証確認カウンターの場所)に予約センターの開設を予定しております。具体的には、**お電話**や**対面**での診療予約変更が可能となります。

予約センターの開設に伴い、再診受付機、保険証確認窓口の場所およびフロア番号が変更となります。また、再診受付機の移設に併せて、新しい再診受付機に更新する予定です。

今後、予約センターの設置のほかにWEB予約変更システムやナビダイヤル等の導入も計画しており、患者さんの利便性向上に努めてまいります。

開設日、開設時間などの詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。予約センターの開設まで今しばらくお待ちください。

事業戦略部 部長 北尾 義隆

